

(参考) 全世代・全員活躍型の「生涯活躍のまち」 自治体の取組概要

- ・石川県輪島市 ー福祉事業を活用した「ごちゃませ」のコミュニティづくりー
- ・埼玉県秩父市 ー豊島区等と連携したコミュニティへの人の流れづくりー
- ・千葉県旭市 ー地域の大規模病院を核とする官民連携の多世代型の拠点整備ー
- ・徳島県三好市 ーウォータースポーツ拠点と地域特性に合わせたコミュニティづくりー
- ・鳥取県南部町 ーまちづくり会社等との空き家を活用した官民連携による拠点整備ー
- ・長野県駒ヶ根市 ーワーケーションの推進等による多世代交流コミュニティづくりー
- ・北海道東川町 ー留学生や木工・写真文化を活かした多世代共生のまちづくりー
- ・北海道上士幌町 ーまちづくり会社と起業家支援センターを核とした人・健康・コミュニティづくりー
- ・山梨県都留市 ー旧雇用促進住宅を活かした大学連携型の多世代交流のまちづくりー

※その他の自治体の取組概要は以下のURL・QRコードを参照。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/about/ccrc/>



全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の取組事例（石川県輪島市（わじまし））

◆コンセプト：「タウン型生涯活躍のまち」

市街地の空き家や空き地を活用し、多世代交流施設やサービス付高齢者住宅などを配置。青年海外協力協会の人材を活用し、地域課題を自ら解決できる住民自治機能の形成など、住民によるまちづくりを通じて多世代の移住者等の受入環境づくりを目指す。

- <特徴>
- ・ 空き家空き地などの既存ストック活用
 - ・ 国際的感性を持つ青年海外協力協会の人材活用
 - ・ 住民自治機能の形成と移住者等受入意識の醸成



空き家・空き地を活用し、まちなかに拠点施設等を整備

Before



After



健康促進施設（ウエルネス）



子育て支援施設（ママカフェ）



交流拠点施設（やぶかぶれ）

基礎データ

- ・ 人口：26,502人（R1.12月時点）
- ・ 地方創生先行型交付金（先駆的事業分）・地方創生加速化交付金を活用し、移住者募集広報、事業計画策定、CCRCプログラム構築などを実施。交流拠点施設の整備には都市再構築戦略事業の交付金を、ウエルネス、ショートステイ、子育て支援施設の整備には空家再生等推進事業の交付金をそれぞれ活用。

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- 地域交流施設を核とした交流・外出機会等の創出、住民自治活動への参画促進



【今後の展開】

- 地域住民や近隣の商店会と連携し、各種イベント等を通じて交流を図る

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- 就労の場の創出
 - ・ 地元雇用の増加（51名）
 - ・ 障害者の就労の場の確保（就労継続支援A型:34名/B型:18名）



【今後の展開】

- 配食サービスセンターや飲食店等を整備し、さらなる就労の場を創出
 - ※令和2年春に供用開始予定

「健康づくり」

【主な取組内容・進捗状況】

- 健康促進施設（ウエルネス）の整備・運営
- 交流拠点施設を核とした見守り体制整備
- 地域包括ケア体制との連携



【今後の展開】

- 生活困窮者及び高齢者の体力維持活動を中心とした地域交流の場としての機能の向上を目指す

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- サービス付き高齢者向け住宅の整備<全6戸>（就労環境、地域交流機能付）
- 多様な人を集めるためのグループホーム、短期入所施設の整備



【今後の展開】

- 将来的な取組としてサービス付き高齢者向け住宅をはじめ、移住者用の居住施設の確保
- 障害者向けグループホームについて2施設を追加整備
 - ※令和2年春に供用開始予定

コミュニティへの人の流れ

- 本プロジェクトにより、JOC Aの隊員やその家族などが輪島に移住
 - <移住者数：12名> R1.12.1現在
- 生涯活躍のまちづくりに関する視察の受入れ等による関係人口の増加
 - ※自治体・事業所・関係機関など多数
- 大学生のインターンシップ受入れ等による若者世代との交流促進

その他特徴的な取組

- 輪島カブーレの第2拠点施設として市内空き店舗を改修したゲストハウス（簡易宿泊所）がオープン。国内外の観光客をはじめ輪島を訪れる人との交流の場としての活用を期待。



全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の取組事例（埼玉県秩父市（ちちぶし））

◆コンセプト：「総合的な移住政策」

幅広い年代を対象に移住・交流促進事業を展開。移住者だけでなく、以前からお住まいの市民もメリットを享受できるよう、生涯活躍のまちづくりに必要な基本機能を充実させていく。

＜特徴＞

計画推進当初から、多世代を対象とした「総合事業」と、アクティブシニアを対象とした「モデル事業」の二本柱で展開。姉妹都市である東京都豊島区との連携プロジェクトも推進。

◆事業イメージ

秩父市生涯活躍のまちづくり (秩父版CCRC)



総合事業 (移住・交流促進事業)

- 幅広い年代を対象
- 二地域居住の推進
- 関係人口の構築
- 移住相談センターの設置 など

モデル事業 (拠点整備事業)

- アクティブシニア対象
- サ高住・交流施設の整備
- 公民連携プロジェクト
- 地域交流事業の実施 など



(東京都豊島区との連携)

移住者だけでなく、以前からお住まいの市民もメリットを享受可能なまちづくり

基礎データ

- ・人口：62,053人（R1.12月時点）
- ・H28.12「秩父市生涯活躍のまちづくり構想」策定
- ・H29.3「秩父市生涯活躍のまちづくり基本計画」策定
- ・地方創生先行型交付金（先駆的事業分）、地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金（H29.第1回、H30.第1回）を活用し、事業計画策定、候補地基礎調査、事業運営モデルの検討等を実施。

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- 公民連携「花の木プロジェクト」により「花の木交流センター」を整備（R1.10）

【今後の展開】

- 移住者相互に加え、地域との交流事業を展開予定 など



「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- 「秩父ビジネスプラザ」の開設（コワーキングスペースなど）
- 県と連携したシニア就労支援
- 「ちちぶ学セミナー」の開講 など

【今後の展開】

- 生涯現役支援施策の展開
- 働き方改革と地方創生の連携（逆参勤交代構想等） など



「健康づくり」

【主な取組内容・進捗状況】

- ちちぶ版地域包括ケアシステムの展開（秩父地域1市4町）
- 秩父市版健康マイレージ事業の実施（H30～） など

【今後の展開】

- 地域包括ケアシステムの充実
- 健康マイレージ事業の充実 など



「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- 公民連携「花の木プロジェクト」によりサ高住を整備（R1.11）
- お試し居住住宅、市有住宅等による移住・二地域居住の推進 など

【今後の展開】

- サ高住「ゆいま～る花の木」の入居促進 など



コミュニティへの人の流れ

関係人口の構築

- ・丸の内プラチナ大学との連携（「逆参勤交代構想」）
- ・ツアー、イベント等の実施
⇒ 継続的な参加、地域活動等への参画 など



その他特徴的な取組

東京都豊島区との連携

- ・姉妹都市連携を深化
- ・移住体験ツアー
- ・職員の相互派遣
- ・移住者に対する豊島区福祉サービスの継続提供 など



全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の取組事例（千葉県旭市（あさひし））

◆コンセプト：旭市にしかない・旭市ならではの “魅力とライフスタイル”の創出・提供

- 旭中央病院を核とした医療・介護と農業の連携により、日本一の安心と生きがいのある暮らしを提供する「持続可能な多世代交流拠点」
- 多世代・多機能が混在し、共に支え、触発し合う「安心・生きがい・おもしろ創造空間」

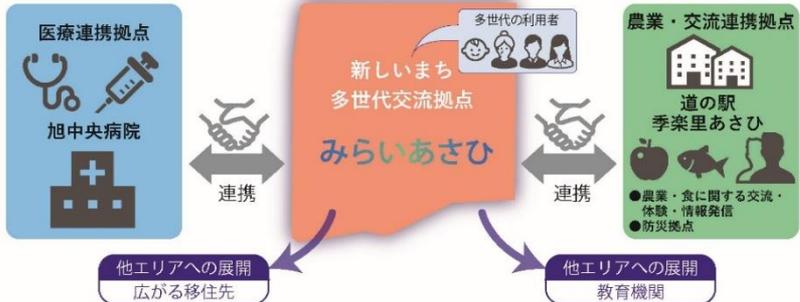
<特徴>

- ・診療圏人口100万人を誇る旭中央病院を核とした最高の安心の提供
- ・高齢者だけではない多様な人々が混在し共生する多世代参加型のまち
- ・民間事業者グループが持つアイデアと活力を取り込んだ官民連携事業

地域と共に「楽しく健康になる」ための持続可能な多世代交流拠点

みらいあさひ

～「ひと」、「まち」、「くらし」が充足する“居心地の良い場所”～



- ・人口:65,358人 (R1.12月時点)
- ・H28.3 旭市総合戦略策定、H29.11地域再生計画認定
- ・地方創生先行型交付金 (H27)、地方創生推進交付金 (H29・H30) を活用し、事業構想策定・都市住民ニーズ調査・移住セミナー・移住ツアー等を実施。
- ・事業推進主体:イオンタウン(株)を代表事業者とするグループ (構成員:大和ハウス工業(株)千葉中央支社、阿部建設(株)、(株)楽天堂)
- ・事業推進コーディネーター:(株)ちばぎん総合研究所

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容】

- 多世代交流ラウンジ※
「(仮称)おひさまテラス」の設置

※生涯活躍のまちに整備される商業施設内に設置する、公設民営の交流拠点施設

【今後の展開】

- 「遊ぶ・食べる・学ぶ・つくる・働く・育む」の6つの活動を柱に、子どもから高齢者まで全世代に対応した生涯活躍プログラムの検討・実施
- 生涯活躍プログラムを通じたまちづくり人材の育成
- 行政・地域・大学など多様な主体との連携構築
- 関係人口の創出と活用方策の検討・実施

「活躍・しごと」

【主な取組内容】

- 雇用の受け皿としての医療・介護資源の活用
- 生涯活躍のまち内の商業施設や介護施設等での地域雇用の創出
- 多様なつながりから生まれる
スモールビジネス等の起業支援

【今後の展開】

- 市の施策及び市内事業者と連携した移住者の就労支援の検討・実施
- 医療・介護人材をターゲットにした移住PR活動の実施、医療・介護人材の育成
- 起業ニーズの掘り起こしと支援策の検討・実施
- 就農希望者の育成・支援と農業資源を活用した雇用・ビジネスの創出

「健康づくり」

【主な取組内容】

- 「Wellness Town」の提供
- 旭中央病院と連携したクリニックモールの開設
- 健康増進施設の設置

【今後の展開】

- 「医療提携による健康の見える化」の枠組み構築
- ・病気予防の情報発信など健康維持をサポートする生活密着型の「Wellness saloon」設置
- ・Wellness saloon、クリニックモール、旭中央病院の連携による安心の提供
- ・健康増進・介護予防プログラムの検討・実施

「住まい」

【主な取組内容】

- 一般移住者向け、アクティブシニア向けなど各世代のニーズに合わせた住まいの提供
- 小規模特養施設の提供

【今後の展開】

- 移住促進事業の実施及び情報発信の強化
- 各世代の的確なニーズ把握及び情報収集
- 事業推進主体の住宅メーカーによる不動産の有効活用の提案や地域金融機関グループによる資金調達の相談など金融面からの移住サポートの検討

コミュニティへの人の流れ

- 多様な媒体を活用した情報発信
- マーケティングによる潜在的な移住希望者の発掘
- 継続的なアプローチや滞在型セミナーなどによる旭市のファンづくりと関係人口の創出
- 多世代交流ラウンジに設けるコワーキングスペースを活用したサテライトオフィス、ワーケーション等の誘致

その他特徴的な取組

- 民有地（農地）への民間開発誘導
- インフラ整備等に対する市からの財政支援
- Win-Winの関係性を重視した官民連携
- 豊富な情報ネットワークを有する地域金融機関グループによる事業推進支援
- 地域課題解決と事業継続性向上のため、地域住民等が参画するエリアマネジメント組織「みらいあさひ協議会」の設置

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の取組事例（鳥取県南部町（なんぶちょう））

◆コンセプト：「あなたの生き方をデザインできるまち」

東京圏等からの移住者をはじめとする地域の高齢者等に対し、その方の経験や人脈を活かせる活躍フィールドを提供するとともに、必要な医療・介護を継続的に受けられる体制を整備することにより、南部町への移住を促進し、地域の課題を解決するための人材の誘致につなげる。これにより、移住者だけでなく地元住民にとっても暮らしやすいまちづくりを進める。

<特徴>

- ・地域が必要とする人材の誘致
- ・居住場所は空き家の利活用を軸とする
- ・運営主体は民間の「まちづくり会社」等を中心に進める

【事業対象の全体像】



◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】
○地域交流拠点兼おためし住宅「えん処米や」(H28.4)、賀野地区交流拠点施設「えんがーの富有」(H29.4)、手間地区交流拠点施設「てま里」(H31.4)を開設

【今後の展開】
○法勝寺拠点エリアに多世代協同型交流拠点施設（事業主体：JOCA）及び、ハブ拠点施設（事業主体：南部町）、南さいはくエリアにサテライト拠点施設（事業主体：未定）を整備予定

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】
○まちづくり会社において、ハローワークと連携した無料職業紹介を実施。これまで37人就職内定済（R1.11）

【今後の展開】
○まちづくり会社、南部町、ハローワーク米子3者共催による町内企業就職相談会の定期実施を予定

「健康づくり」

【主な取組内容・進捗状況】
○各地域振興協議会（7ヶ所）にまちの保健室を設置
○「いきいき100歳体操」「健康ウォーキング大会」等、独自の健康づくり施策を実施中

【今後の展開】
○高血圧症等の生活習慣病予防のため、町内飲食店等と連携した減塩普及キャンペーンを実施予定

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】
○まちづくり会社において空き家のサブリース事業を運営中。24世帯入居中（R1.11）

【今後の展開】
○新築希望のニーズに答えるため、民間活力の活用による小規模宅地造成を検討中

コミュニティへの人の流れ

【主な取組内容・進捗状況】
○首都圏の相談窓口として生涯活躍ポータル「カラフル」に出展（R1.6）
【今後の展開】
○都市部の大学生等のフィールドワークの受入れを推進し、地域課題解決のアイデアを募るとともに、関係人口の増加に繋げる

その他特徴的な取組

○地域共生社会実現拠点「いくらの郷」を開設（H30.5）。就労訓練等により、引きこもり者等の社会参画を促している
○まちづくり会社が提供する市民カレッジとして「なんぶ里山デザイン大学」を開催（R1.11までの参加者数1195人）

基礎データ

- ・人口：10,769人（R1.12月時点）
- ・H27.9 なんぶ創生総合戦略を策定、H28.8 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定、H29.3 南部町生涯活躍のまち基本計画を策定
- ・地方創生先行型交付金（先駆的事业分）・地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金（H28.第1回）・地方創生拠点整備交付金（H28.第1回）
- ・地域再生推進法人：「NPO法人なんぶ里山デザイン機構（まちづくり会社）」（H29.9）及び「公益社団法人青年海外協力協会(JOCA）」（H29.10）を指定

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の取組事例（長野県駒ヶ根市（こまがねし））

◆コンセプト：「人生100年型多世代交流コミュニティの実現」

このまちに来たい、住みたい、住み続けたいと思える人が増えるように、地域の魅力を高め、誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合う地域づくりに取り組み、地域活力の確保や安心な暮らしの確保を目指す。

- ＜特徴＞
- ◆ 誰もが活躍できる地域共生社会（ごちゃまぜ）の実現
 - ◆ 地域特性を活かし、新たな人の流れをつくる
 - ◆ リニア開通を見据え、ブランディング、街なかの整備



基礎データ

- ・人口：32,208人（R1.11月1日時点）
- ・H31.2月駒ヶ根市版総合戦略改定（生涯活躍のまち明記）
- ・R1.8月駒ヶ根市版生涯活躍のまち構想策定
- ・地方創生推進交付金（2019.第2回）を活用
- ・地域再生推進法人：公益社団法人青年海外協力協会を指定（R1.9月）、市と協働により事業構築中。

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- 交流拠点整備 ※地域再生推進法人
- ウェルネス整備、市民活動支援センター活用
- 外国籍市民との交流促進（大使村）
- 市民団体交流促進

【今後の展開】

- ウェルネス施設整備後、関連施設をまちなかに集中整備
- 多世代・多文化交流の促進

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- 交流拠点を活用した就労の場の創出（就労継続支援A型・B型）
- 多様な人の雇用機会の拡大
- お互いに関わり合う場づくり

【今後の展開】

- ウェルネス施設での障がい者の就労の場の確保
- 働く人の環境に合わせた雇用の検討

「健康づくり」

【主な取組内容・進捗状況】

- ウェルネス整備（R2以降）
- こまがね健康ステーション連携
- 地域包括ケアシステム連携

【今後の展開】

- ウェルネスと健康ステーション連携による健康増進の仕組みづくり
- 大学・研究機関との連携

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- 関係人口づくりと合わせたゲストハウス、お試し居住の整備
- まちなかへの住み替え支援

【今後の展開】

- ニーズ調査
- 立地適正化計画連動した支援検討

コミュニティへの人の流れ

- 信州駒ヶ根暮らし推進協議会連携
- 官民連携による移住相談、マッチング
- ワーケーション推進（関係人口拡大）



- ・企業連携
- ・テレワーク環境整備
- ・まちなか塾
- ・地域おこし協力隊活用

その他特徴的な取組

- ＜地域特性を活かす、ブランディング＞
- アルプスに代表される観光資源
 - JICA駒ヶ根の所在と積み重ねられた国際交流の実績
 - こまがねテラス
 - 大使村構想の推進
 - まちなか遊休資産活用
 - 効果的な情報発信
 - ※市民もアルプスのまちを楽しむ機会の提供

◆コンセプト：「多文化・多世代共生のまちづくり」

転入者や外国人も含めた町民がまちづくりに参画することで、町の一体感や魅力を向上させ、定住により次世代も住み続けるまちづくり、異なる文化や世代の町民が互いに理解し尊重し合う、多文化・多世代のまちづくりを推進する。

<特徴>

- ・町民一人一人の思いに寄り添い、それぞれの力を引き出す
- ・地域再生推進法人を活用した、緊密な官民連携



基礎データ

- ・人口：8,382人（内、外国人392人）（R1.12月時点）
- ・H27.10月 写真文化首都東川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定（H31.3月改訂）、H31.3月 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
- ・地方創生推進交付金（H31年度第1回：先駆タイプ）
- ・地域再生推進法人：株式会社東川振興公社（H31.1月指定）

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- 地区コミュニティセンターや文化ギャラリー等を使いやすく、機能強化し、「行きたくなる」ような企画を充実

【今後の展開】

- 多世代が互いに役割を持って交流でき、誰でも居場所がある多様なコミュニティ
- 外国人留学生等との日常的な交流や異文化理解を深め、多文化共生社会を促進

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- 「しごとコンビニ」の拠点整備およびニーズ調査を踏まえた試行
- 「できる。カルテ」（仮称）のデータベース準備

【今後の展開】

- 子育て中の女性や高齢者、外国人留学生等が空いた時間を活用して働き、プチ起業も
- 町民のできることを活かす場・機会を提供し、夢や希望の実現を支える仕組みの整備

「健康づくり」

【主な取組内容・進捗状況】

- 健康ポイント制度の充実・拡大に向けた検討
- 他自治体・社会福祉施設等と連携した外国人の介護福祉人材育成

【今後の展開】

- 地域包括ケアシステムの充実・強化
- 地域資源を活用した健康づくり
- 介護福祉人材育成・供給を通じた、持続的な安心提供体制の構築

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- 独居や夫婦高齢者の、便利なまちなかへの住み替え住宅の検討
- 空き家バンクの開設および住宅の活用についての意識啓発

【今後の展開】

- 住み替え後の空き家への子育て世代の入居等による住宅循環×転入促進
- 郡部に住む人も含めた、住み慣れた地域で最期まで暮らせる仕組みの構築

コミュニティへの人の流れ

- 大雪山文化、写真文化、木工・家具デザイン文化を軸とし、「株主制度」等を活用した、町のファン・リピーターづくり
- 「オフィシャルパートナー制度」等による企業との関係構築
- 町立日本語学校や海外事務所（6カ所）等を活用した留学生等の受け入れ

その他特徴的な取組

- 全国の5自治体連携による東京拠点「生涯活躍ポータル『カラフル』」の開設
- 日本語・日本文化を理解し、社会ルールやビジネスマナー等を身に付けた外国人材の育成やキャリア開発
- 子どもや高齢者、外国人等にとって暮らしやすい公共交通の整備

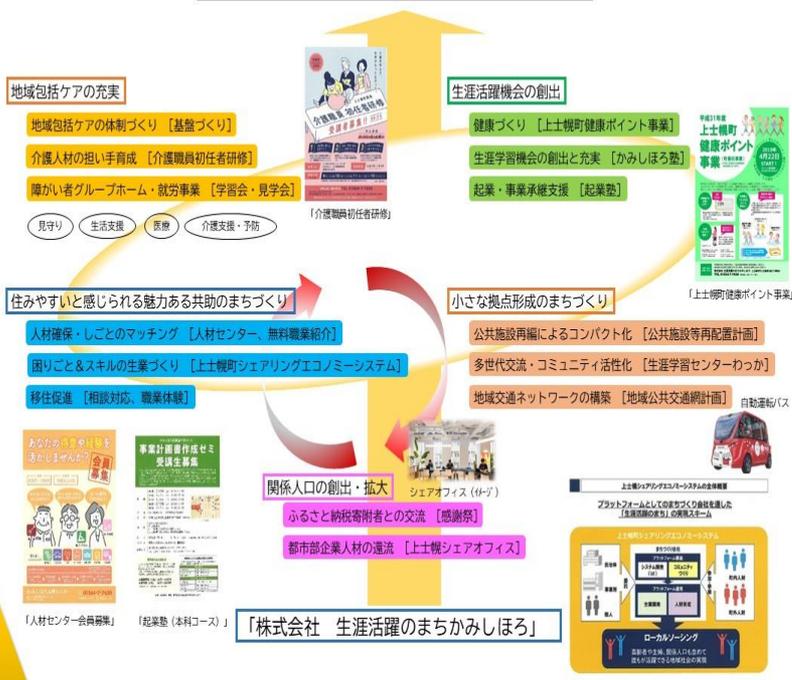
◆コンセプト：「全世代型生涯活躍のまち かみしほろ」

だれもが健康で充実した生活を送ることができるよう、生活支援や介護サービスなどケアの確保をはじめ、住まいの確保、生涯学習や起業支援、多世代交流等居場所と役割のある地域コミュニティづくりなど全世代型生涯活躍のまちづくりを目指す。

<特徴>

「株式会社生涯活躍のまち かみしほろ」が運営推進機能を担い、地域包括ケアの充実、生涯学習機会の創出等に取り組んでいる。

上士幌町 全世代型生涯活躍のまちづくり



基礎データ

- ・人口：4,959人（R1.12月時点）
- ・2017年7月「生涯活躍のまち 上士幌町創生包括プロジェクト基本構想」策定
- ・2017年9月「株式会社生涯活躍のまち かみしほろ」設立
- ・2017年～19年 地方創生推進交付金「生涯活躍のまち 上士幌町創生包括プロジェクト事業」実施

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】
○町生涯学習センター「わかか」を拠点に多世代の居場所、交流、活動が行われている。

【今後の展開】

○引き続き、生涯学習センターを拠点に、幼児から高齢者までが互いに学び、育つ世代間交流の促進を図り、知恵の伝承など支え合いのコミュニティ形成を目指す。

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】
○人材センターや無料職業紹介においてしごとのマッチングを行い、スキルの活用と困りごとの解決を図っている。

【今後の展開】

○町内外からサポーター（会員）を増やし各々のスキルを活かすとともに、困りごとを生業として地域経済が循環するプラットフォームを形成し、コミュニティづくりや人材育成を促進する。

「健康づくり」

【主な取組内容・進捗状況】
○健康ポイント事業により、活動量計を活用したウォーキングのインセンティブを高めるとともに、イベントなどで健康づくりを促進している。

【今後の展開】

○30代～40代の男性の利用が少ないため、この世代の利用を高めるため、企業と連携したモデル事業などを検討し、町内の幅広い世代の健康づくりに対する意識向上と活動促進につなげる。

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】
○農村部における単身高齢者世帯を対象とした住み替えに関するアンケートを実施、実態の把握に努めている。

【今後の展開】

○民間賃貸住宅建設費補助により、町内には住居戸数が増加傾向にあるが、市場動向を見ながら、移住者などが住み続けられる環境づくりへのサポートのあり方について引き続き検討する。

コミュニティへの人の流れ

2014年よりふるさと納税寄附者と都市部において交流会を実施し、関係づくりを継続しているほか、2019年度シェアオフィスを整備しており、今後、企業人材の還流を促し、関係人口の拡大による地域経済の活性化を目指している。

その他特徴的な取組

「株式会社生涯活躍のまち」をプラットフォームとして、町内外のスキルと町内個人・企業の困りごとをマッチングするシステムを導入し、しごとの掘り起こしや人材育成、コミュニティづくりを目指すシェアリングエコノミー構想を展開する予定。

◆コンセプト：大学連携型「生涯活躍のまち・つる」の実現

- ①市内に3つの大学が立地するという強みを活かし、「大学コンソーシアムつる」を組成
- ②大学相互の連携を深めるとともに、市民向けに「目標指向型」の「生涯学習プログラム」を提供
- ③都留文科大学卒業生等をターゲットとし、住み替え支援（二地域居住等含む）を展開

<特徴>

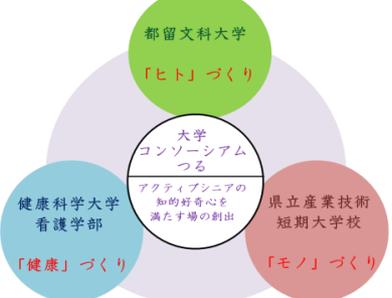
人口3万人規模の市に、3つの大学（県立、公立大学法人、私学）が立地するという強みを活かし、学生・高齢者・若者・子どもが活躍し、移住者からも市民からも「魅力的なまち」と実感いただける「市民全体の豊かな暮らし」を目指します。

大学コンソーシアムつる

3校が連携し、生涯学習プログラム（まち魅力向上）、地域貢献事業（地域活性化）、相互の連携交流（大学質向上）など、「生涯活躍のまち・つる」の特色強化



都内窓口「カラフル」でのPR活動



移住者と地域住民との交流会



R1.9に完成したサ高住「ゆいま〜る都留」

基礎データ

- ・人口：30,233人（R1.12.1時点）
- ・H27.10 都留市版 生涯活躍のまち事業を盛り込んだ都留市総合戦略を策定、H28.8 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定。
- ・地方創生先行型交付金（基礎分・先駆分、地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金（H28.第1回、地方創生拠点整備交付金（H28.第1回））を活用し、都内に窓口設置、移住ニーズ把握、お試し居住、交流拠点、健康ジムなどを整備。
- ・H30.7「生涯活躍のまち・つる」全体をマネジメントする組織として任意団体「生涯活躍のまち・つる推進協会」（以下「推進協会」）が設立。

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- サ高住の敷地内に、地域交流センターをH30.3に整備
- 移住者と地域住民との交流会を開催

【今後の展開】

- 既存の施設を利用して、移住者・地域住民・学生・高齢者など多世代が交流できる機会の創出
- 複合型PTでは、子どもから高齢者まで、多世代が利活用できる場を整備

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- H30推進協会を組織、しごと作りやコミュニティ強化等に取り組む
- 「大学コンソーシアムつる」を組織、生涯学習プログラムを開発中

【今後の展開】

- 推進協会を法人化し、「ちょこっとしごと」などを紹介できる職業相談所や人材養成講座などを計画
- シルバー産業の構築による就労機会の創出

「健康づくり」

【主な取組内容・進捗状況】

- 健康維持・増進と多世代交流の拠点としてH30.4に健康ジムを開設
- 健康教室や健康プログラム（健康増進・介護予防業務）を開催

【今後の展開】

- 市内の各地域で、多世代が参加できる健康プログラムを開催できるように、実施場所や機会の拡大を図る

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- 旧雇用促進住宅を、事業者がサ高住に改修し運営（単独型PT）
- 市有地にサ高住等複数施設を複合的に整備予定（複合型PT）

【今後の展開】

- 単独型PTは、R1.9末にサ高住「ゆいま〜る都留」（2棟80室）が完成、市内外から7割を超える申込み
- 複合型PTは、R1年度以降に公募

コミュニティへの人の流れ

- R1.6に新たな移住窓口「カラフル」（東京駅最寄）を開設し、東京圏での積極的なPR活動を実施
- 市役所となりに、お試し居住もできる移住・定住相談センターを整備し、「カラフル」との連携により市内訪問

その他特徴的な取組

- 市民や県内外の事業者を対象に「生涯活躍のまち・つる」の取組について、CCRC構想研究会を13回開催
- お試し居住の際には、事前に要望を確認して、職員が市内を案内